

BERCニュース

「株主至上」から「公益重視」を

原文人氏「新しい資本主義」を解説
基調講演

BERC国際シンポジウム

BERC第12回経営倫理・国際シンポジウムが、国際文化会館岩崎小彌太記念ホールで、11月18日に開催された。「新しい時代の経営倫理を考える」が、テーマ。基調講演は、デフタ・パートナーズグループ(DEF TA)会長でアライアンス・フォーラム

は、公益資本主義の下では、中長期的視点に立った経営で人間社会の営みに必要な産業のすべてに人的資源、資本が行き渡ると強調した。DEF TAとアライアンス・フォーラムでは、ポスト・コンピュータ産業の創出とコア産業の整備・発信による「自立可能な発展途上国の支援モデル」を実践していることを発表した。

具体的事例としてバングラデシュのBRAC net、アフリカの栄養不良対策「スピルリナ・プログラム」、マイクロファイナンスの専門家育成プログラムから発展させていくと述べた。

野博司氏(朝日新聞社マネージャー地球環境プロジェクトリーダー)、池田耕一氏(立教大学大学院ビジネスデザイン研究科教授)が参加した。まず、金澤氏からNTTが中長期的視点に立った経営へとシフトしていることなどについて発言があった。

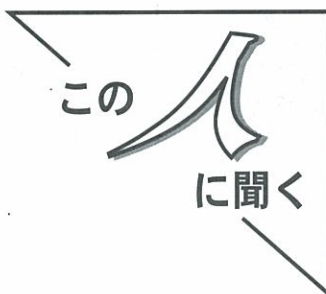
荻野氏は、ジョンソン&ジョンソンの例題をあげるなどジャーナリストの視点から提言した。池田氏は、グローバルリゼーションによるリスクと不確実性の時代における経営者のあり方などについて発言した。

高責任者(昼食会が六つについて卓話があった。本木・国際文化会館で開かれた。昼食後、東京電力顧問・田村滋美氏から同社で企業倫理「言いつけ」を委員会委員長として取り組んだ当時の経験に

「組織の透明性確保」を強調
BERC新入会員社の紹介



やまぐち・のりお
東京都出身。67年3月東大文学部卒、味の素入社。冷凍食品部、調味料部などの課長を経て97年7月取締役食品事業本部冷凍食品部長。味の素冷凍食品副社長を経て01年常務、03年専務、05年6月社長。09年6月会長。66歳。



味の素(株)の歴史は09年に100周年を迎えたと聞いています。簡単にその歴史をお話し

09年は味の素の創業100周年になります。正確にいえば1908年に池田菊苗博士が昆布からグルタミン酸を抽出、それを創業者二代目鈴木三郎助が「味の素」として商業化し

飲料など食品からアミノサイエンス、医薬・健康に亘る世界に類のない企業グループに発展しました。

味の素グループの理念、行動規範などをどのように変えたのでしょうか?

理念は食と健康に、「いのち」を加え、「私たちは地球的な視野に立ち、「食」と「健康」そして「いのち」のために働き、あすのよりよい生活に貢献します」としました。更に味の素グループとしての共通の価値

英語も含め、各国で翻訳されており、具体的な内容は「新しい価値の創造」「創造(Creation)」「開拓者精神」「開拓Pioneer」「社会への貢献」「Contribution」「人を大切に

たのが翌年の1909年です。日本のグルタミン酸メーカーが10万トン、世界では220万トンとなり100カ国以上で使われています。グルタミン酸II「味の素」が出発点となり、油脂、加工食品、

こうした記念すべき時に、副社長をトップに企業行動委員会が中心となって、グローバル化、健康・環境などへの事業の広がりを反映し、理念、規範などを原点から見直し策定しました。改定された

観、仕事をする上での基本的な考え方、姿勢を「味の素グループWay」としてまとめました。

「世界の中に工場や拠点があふれる味」として日本語だけではなく外国語でも書いているの

「行動規範」「行動基準」に公正、公平、透明、簡素を基本とし信頼される味の素グループを目指すことが謳われています。一人ひとりがきちんと常識をわきまえて行動することが基本ですが、すべての取引を透明化するということが不祥事は防げるのではないかと思います。

インタビュアー・経済ジャーナリスト 阿部和義

37号の紙面



- 2面 「第14期関西セミナー」
- 3面 「経営倫理士」講座ニュース
- 4面 「相次ぐ顧客情報の流出」不祥事絶えぬゼネコン業界「経営

- 倫理 我社の取組み②・田所健一さん
- 5面 「問われる『不作為の過失』」AED不具合トラブル」09年企業不祥事件数
- 6面 「社会貢献活動の現場から③」写真「地球交差点」読んだら老けないコラム

1月26日 経営倫理学会シンポ

日本経営倫理学会 (JA BEES) 主催の「第2回経営倫理シンポジウム」が2010年1月26日、上智大学で開催される。今回のテーマは「企業の持続性と経営倫理」。

当日は村山元理同学会常務理事(常磐大学教授)が総合司会。まず高橋浩夫同学会会長の開会挨拶の後に、渋沢健氏(シブサワ・アンド・カンパニー代表取締役)が「論語と算盤に学ぶ―企業の持続

「企業の持続性と経営倫理」テーマに

＝参加、受付中＝

可能性を目指す渋沢栄一(資生堂代表取締役執行役員副社長)により「資生堂が取り組むCSR活動」の3件の実践報告がある。引き続き講演した3

「不祥事は、なぜ多発するのか」09年3月、早稲田大学で開かれ反響を呼んだ。参加費は一般1000円、学生無料。定員は150名。

問い合わせ先 日本経営倫理学会・経営倫理シンポジウム実行委員会 〒1020083 東京都千代田区麹町4-5-4 桜井ビル3F ☎03(3221)1477 03(3221)1478 E-mail: info@jabetes1993.org

対策を説明した。次に日本経済新聞社大阪本社社会部長・橋本圭子氏が「マスコミから見たリスクマネジメントの課題」をテーマに講演。

21年度上期決算など承認

BEERC理事会

一般社団法人化した経営倫理実践研究センター(BEERC)の第1回理事会が、12月8日午後東京都千代田区の海軍センタービルで行われ、21年度上期決算及び資産贈与・監査報告等が承認された。今回の一般社団法人化に伴い課税・非課税の振り分けなど適正管

新谷大輔氏を講師に迎える

BEERC研究会

経営倫理実践研究センター主催の第3回「コンプライアンスのグループ展開」研究会が12月18日に開催された。今回は三井物産戦略研究所の新谷大輔氏を講師に迎え、「日本企業に

「転換期の経営倫理」学ぶ

14期関西セミナー 古村弘幸氏(パナソニック)ら講演

ISO26000の特徴と対応策について説明した。次に同主任研究員・星野邦夫氏が「パワーハラメント防止のためのマネジメント」について講演。パワーハラ原因の自殺などの問題が表面化したことで、裁判の際に企業側に対して厳しい判例が増えているが、星野氏はパワーハラ定義、発生する理由、有害性について説明したうえで、企業が「パワーハラ防止マネジメント」を実践していかなければならないことを強調した。

第14期経営倫理・短期集中講座関西セミナーが、「転換期における経営倫理の新たな課題」と今求められる対応策をテーマに、11月26日に大阪府商工会館で開かれた。

セミナーは午前と午後に分かれ、午前の部ではまず、BEERC首席研究員・田中宏司氏が「CSR7つの中核」として最新の動向について講演。田中氏は国際化の進展を始めとした複数の要因により、企業にとってのパラダイムシフトが続いていることを受け、「ガバナンスと人権」を重視する



向きな意見が出されたステークホルダーミーティング＝大和ハウス工業本社で

プライアンス本部長・小川英明氏が「内部統制・不正防止と発見」について講演。サププライムローン問題に端を発した世界経

とってのアジアとCSRの視点」がテーマ。前半は日本企業にとってのアジアについての説。近年、加速的に経済的成長を遂げているアジアだが、一方でそれに伴う環境問題や、所得格差の拡大も問題となっている。アジア市場におけるCSRを考

6回目のステークホルダーミーティング

「社会との共生」など議論

大和ハウス工業

大和ハウス工業の2009年度ステークホルダーミーティングが10月27日(火)に大和ハウス工業本社ビル(大阪市)で開かれた。

ミーティングでは、テーマ毎に4つのグループに分かれ、最初に同社の取り組みについて説明があり、その後、グループ毎にディスカッションが2時間かけて行われた。なお、同社が用意したテーマは、「長期優良住宅への取り組み」と「持続可能な都市基盤のために」

同社は、積極的な情報開示と対話により、ステークホルダーとの良好な関係を築くため、2004年度より年に1回のペースで同ミ

環境に配慮した建築」「従業員のワークライフバランス」「社会との共創共生について」の4つ。ディスカッションの後には、グループ毎に討議成果が発表された。たとえば、長期優良住宅について議論したグループからは、「間取りを自由に変更できる家があれば、数世代に渡って住み続けられ、環境にも優しいのではなか」という意見が出た。また、同社HPに2010年2月頃公開される予定。



④ ACBEE 辛島睦理事長から修了証を受け取る新経営倫理士⑤講師、先輩らも参加した懇親交流パーティー

「経営倫理士」講座二ニュース

「第14期 受講生」受け付け始まる

「経営倫理士」資格取得講座の第14期受講生を受け付けが始まった(日本経営倫理士協会 II ACBEE II 主催)。

「経営倫理士」資格取得講座は、1997年に発足、この13年間に、合計約370名の経営倫理士が誕生している。本講座は、経営倫理実践研究センター、日本経営倫理学会の協力・連携の下に進められてきた事業。

「講座の目的」①幹部社員として求められる経営倫理・CSRに関する知識②経営倫理の研修・教育のプロを目指す③リスクリスク発生時のアドバイザーとして④コンサルタントを目指す際の必要資格として(など)。

経営倫理・CSR関連の最新20テーマ、専門講師から学ぶ

年間スケジュールと担当講師

青山ダイヤモンドビル(渋谷区)

Table with 4 columns: 講座 (Lecture), 開催日 (Date), テーマ (Theme), 講師 (Instructor). It lists 20 lectures from May to December, covering topics like '総合ガイダンス', '経営倫理の基礎理論', '経営倫理と法務', etc., with corresponding instructors.

辛島理事長から認定書授与

喜びの中に使命感

倫理士講座 第13期修了式

NPO法人・日本経営倫理士協会(ACBEE)主催の「第13期・経営倫理士」修了式が09年12月14日、行われた。今回の資格取得者は27名。修了書を手にした新経営倫理士たちは晴れやかな表情の中に、経営倫理士としての活動に意欲をみなぎらせていた。

370人となる。修了式では、辛島睦理事長の祝辞の後、受講生一人ひとりに修了認定書が手渡された。式典には、来賓としてACBEE各理事はじめ、講師諸先生や、総合企画委員ら経営倫理士先輩も出席。この後、修了生を代表して小林透氏(株)ビジネス・コンサルタント)が、答辞を述べた。約8カ月にわたっての経営倫理士資格取得講座で学んだことを、今後の自分の仕事の中に生かしていきたい、と意欲的な姿勢を見せた。流パーティーが開かれ、ACBEE理事はじめ経営倫理実践研究センター(BERIC)や日本経営倫理学会関係者や13期以前の経営倫理士らも参加した。

「経営倫理士」講座二ニュース

*担当講師、内容等は一部変更する場合があります。

「持ち帰り残業」に原因も

相次ぐ顧客情報の流出

企業や金融機関などから顧客情報が流出する不祥事が後を絶たない。生保大手のアリコジャパンは顧客のクレジットカード情報が1万8000件あまり外部へ流出していたことが明らかになった。このほど、さらに1万4000件あまりの流出が判明した。先に情

報流出が明らかになった顧客に対して金券を送るなどの対応をしていた矢先だけに同社のダメージは大きい。同社以外にも大分銀行、大阪ガス、仙台銀行などが顧客情報の流出や紛失などを公表している。インターネットやUSBメモリーなどさまざまなメディアが登場

し、情報管理が難しくなっている面はあるが、原因は情報を扱う「ヒト」の管理のまずさにもあるのではないかとアリコでは、契約者が外部へ流出し、不正に利用されていることが2009年9月に発覚。10月に入ると従来、特定できていた顧客とは

別の属性を持った顧客情報の不正利用も判明した。海外の委託先従業員のIDによる自然なアクセスが明らかになっており、情報の流出元である可能性が高いという。情報流出の件数はさらに膨らむ可能性があるが、最悪の展開をたどっている。

海外委託先の従業員と聞くと、その企業本体との関係は薄く、「企業側は被害者」との印象も強まるが、果たしてそう言い切れるのだろうか。同社の説明だけでは業務委託先と本体との契約内容などは

不明だが、一般論で言えば、企業が業務委託をする最大の理由は人件費を含むコスト削減である。人件費などを減らすために外部に業務委託することを決めたのはその企業自身であり、委託先の従業員に対しては一定の管理責任があるのではな

らうか。顧客情報が流出した企業が公表した原因を見ると、「盗難」「誤操作」「紛失・置き忘れ」などが目立つ。ネットなどを通じた「外部からの不正アクセス」の割合は数%にすぎず、

公共工事減り民間も苦境…

不祥事絶えぬゼネコン業界

7、8割は「企業の内部に原因がある」との推計もある。「企業の内部」とは企業内のヒトの問題であり、ひいてはヒトの管理の問題である。たとえば「紛失・置き忘れ」は担当者の過失であるが、紛失したり、置き忘れたりする危険性がありながらパソコンやUSBメモリーなどを持ち歩かねばならないのはなぜか。ある銀行員は「残業を禁じられているので、仕事を自宅に持ち帰らざるを得ない」と告白する。「顧客データの持ち出しを禁じられているにもかかわらず、ある社員が自宅で仕事をこなそうとして顧客データを持ち出し、電車の中

にばんを置き忘れた」と説明した企業もあったが、「仕事のさせ方」に大きな問題があると云わざるを得ない。情報管理の原点はヒトの管理にあることを忘れてはならない。(M)

ゼネコン業界は民主党の首藤信彦議員の党権になって、公共(東海大教授)などは「現在の50万社のゼネコンは半分が良いので、不況で少なくはならないか?環境や農業

守態勢の適切性・有効性を検証している。「内部監査は、日常業務における問題点を発見・指摘する」とも、その管理態勢の評価および問題点の改善に資する提言等を行っています。内部監査結果は経営層に報告し、全社の内部管理・コン

「当社では、常に『社会のために貢献できること』『お客様のためになること』を追求しています。私の所属する業務監査部でも、その精神に基づいて、監査業務に取り組むことを心掛けています。T&D保険グループでは、T&Dホールディング

と社会に貢献するグループを指します」を経営理念にCSRの視点を加え、事業活動を行ってきました」と、同社保険業務監査部・田所健一課長は、話す。

特に、「全役職員に配布される携帯用リーフレットには、企業行動基準のほかに、保険の「勧誘の方針」が明記され、周知徹底を図っています。特に、市場リスクが影響を及ぼす可能性がある投資性

商品は、お客様の商品購入目的・年齢・収入、投資などの経験、財産の状況などに留意した勧誘を行っていきま

す」と強調する。

「当社では、常に『社会のために貢献できること』『お客様のためになること』を追求しています。私の所属する業務監査部でも、その精神に基づいて、監査業務に取り組むことを心掛けています。T&D保険グループでは、T&Dホールディング

と社会に貢献するグループを指します」を経営理念にCSRの視点を加え、事業活動を行ってきました」と、同社保険業務監査部・田所健一課長は、話す。

インタビュー 経営倫理 我社の取組み ②

「大同生命は、平成11年、太陽生命との全面的業務提携で、T&D保険グループを発足。値の創造を通じて、人

と社会に貢献するグループを指します」を経営理念にCSRの視点を加え、事業活動を行ってきました」と、同社保険業務監査部・田所健一課長は、話す。

特に、「全役職員に配布される携帯用リーフレットには、企業行動基準のほかに、保険の「勧誘の方針」が明記され、周知徹底を図っています。特に、市場リスクが影響を及ぼす可能性がある投資性

商品は、お客様の商品購入目的・年齢・収入、投資などの経験、財産の状況などに留意した勧誘を行っていきま

す」と強調する。

「当社では、常に『社会のために貢献できること』『お客様のためになること』を追求しています。私の所属する業務監査部でも、その精神に基づいて、監査業務に取り組むことを心掛けています。T&D保険グループでは、T&Dホールディング

と社会に貢献するグループを指します」を経営理念にCSRの視点を加え、事業活動を行ってきました」と、同社保険業務監査部・田所健一課長は、話す。

特に、「全役職員に配布される携帯用リーフレットには、企業行動基準のほかに、保険の「勧誘の方針」が明記され、周知徹底を図っています。特に、市場リスクが影響を及ぼす可能性がある投資性



大同生命保険 業務監査部 課長 田所 健一さん

グループ全体に目配り ノウハウは監査部会(BERC)で

「当社では、常に『社会のために貢献できること』『お客様のためになること』を追求しています。私の所属する業務監査部でも、その精神に基づいて、監査業務に取り組むことを心掛けています。T&D保険グループでは、T&Dホールディング

と社会に貢献するグループを指します」を経営理念にCSRの視点を加え、事業活動を行ってきました」と、同社保険業務監査部・田所健一課長は、話す。

特に、「全役職員に配布される携帯用リーフレットには、企業行動基準のほかに、保険の「勧誘の方針」が明記され、周知徹底を図っています。特に、市場リスクが影響を及ぼす可能性がある投資性

商品は、お客様の商品購入目的・年齢・収入、投資などの経験、財産の状況などに留意した勧誘を行っていきま

す」と強調する。

「当社では、常に『社会のために貢献できること』『お客様のためになること』を追求しています。私の所属する業務監査部でも、その精神に基づいて、監査業務に取り組むことを心掛けています。T&D保険グループでは、T&Dホールディング

と社会に貢献するグループを指します」を経営理念にCSRの視点を加え、事業活動を行ってきました」と、同社保険業務監査部・田所健一課長は、話す。

特に、「全役職員に配布される携帯用リーフレットには、企業行動基準のほかに、保険の「勧誘の方針」が明記され、周知徹底を図っています。特に、市場リスクが影響を及ぼす可能性がある投資性

商品は、お客様の商品購入目的・年齢・収入、投資などの経験、財産の状況などに留意した勧誘を行っていきま

す」と強調する。

鹿島は社内調査を

金融業は、社会にどんな恩返しができるだろうか。ある社員から、「子どもたちに自分たちの持っている金融知識を伝えたい」という声が上がると、社会貢献の一環として始まったのが大手銀行では初となる「子ども向けマネー教室」だった。

実施は決まったものの、予算もなく、準備はすべて社員有志によるボランティア。夜間や休日集まるのは、内容はどうするか、どんな教材をつくるか、など知恵を絞った。

そして2005年8月、東京、大阪、埼玉の3カ所で「子ども向けマネー教室」が開催された。90人の子どもたちを招き、銀行内の見学やお札の数え方を学んだり、ゲームで遊びながらお金の役割や大切さを学んでもらった。

社会貢献活動の現場から

(36)

本業で社会に恩返し 「子ども向けマネー教室」5年目

りそなホールディングス

た。親からはとても喜ばれたが、一方で社員からは、「お金の大切さについて、子どもたちに

もつと根源的なことを子どもたちに理解してほしい」という思いがあった。

そうした「お金のつきあい方」を一人でも多くの子どもが学び、自らの力で正しく生きていけるように、との願いから3年目以降は開催を全国規模に拡大、5年目となった昨年は194カ所で約3000人の子どもが参加する大規模な社会貢献プロジェクトに成長した。

社員らは多忙な日常業務との両立に大変だった。だが、「自分が得たものを伝え、喜んでもらえる」という達成感が、彼らのモチベーションをかき立てたという。

企業のCSRに関する世界的な潮流を見ていると、たとえばヨーロッパでは、企業の事業報告書の中にCSRの要素を掲載することを義務化する動きも始まっている。そのような中で、金融業界が直接的に企業のCSRの取り組みを応援していくという役割は大きく、金融業界におけるCSRの取り組みの本流の一つとも言える。



「将来の自立した生き方に役立ててほしい」と、開かれている子ども向けマネー教室の参加者たち

は、まだ十分に理解しては、お金の使い方や働くこととはどう違うのか、お金の役割、長期的視点に立った取り組み。町井則雄

地球交差点

取材メモに残ることなど...

< 11 >



小泉八雲が生まれた島

地中海のイオニア海に浮かぶレフカダ島(ギリシャ)は、島といっても、本土との距離が50キロくらいだから、陸続きといっている。石造りの家が、仲良く肩を寄せ合う、オリブとブドウの人口2万の島だ。

20年前、この島を訪ねたのは、「怪談」など多くの作品を海外で紹介しているラフカディオ・ハーン(日本名・小泉八雲、1850-1904)が生まれた島だ。

親の母国アイルランドに頼まれて、旅行記を書くためだった。ハーンは、根っからのジャーナリストで、異質文化の日本に飽くなき関心と好奇心を示し「知られぬ日本の面影(日本警見記)」など、多くの作品を残した。

晩年の8年間は、東京・新宿に住み、「怪談」などを執筆していた。54歳で亡くなるが、来日後は、生地レフカ

ハーンにちなんだ通り、胸像も建つ

島と聞いたからだ。島には、レフカディオ・ハーンという名の通りがある。ハーンが生まれた家にちなんだもので、近くの詩人公園には、ハーンの胸像や碑も建っている。

ハーンの生涯は、波乱に満ちている。アイルランド人の父親は軍医で、配属されたギリシャで、当地の女性と結ばれて生まれたのが、ハーンだ。レフカダ島にいたのは2年ほどで、その後は、父

19歳のとき、新天地を求めて、リバプールからアメリカに渡る。東部のシンシナティで新聞記者になり、ニューヨーク時代には、クレオール文化(混交文化)に魅せられて、しばしば、西インド諸島のマルティニーク島などを訪れている。

日本にやってくるのは、39歳のときで、ニューヨークの出版社から

読んでら 老けないコラム

体内をためみなくめぐる血液は、身体の隅々に酸素や栄養を運ぶ命の運河。その全長なんと10万キロ!。加齢変化が気になります。まず今回は案外知らないうちに血液の働きをおさらいしましょう。

血液は大きくは「血球」と、液体部分の「血漿」から成り立っています。

血球には3種類あり、中でも一番多いのが赤血球の「赤血球」です。血液が赤く見える源、鉄を主成分とする色素をたっぷり含む酸素の運び屋。1マイクログラム(1ミクロン)の箱の中に500万個もあります。

二つ目は「白血球」。一口に白血球といっても、実は5種類あること知っていましたか。一番多いのが「好中球」で、細菌をやっつける働き。二つ目は「リンパ球」で細胞性免疫をつかさどり、侵入してきたウイルスなどの外敵

食べってしまう最後のごみ処理係。それもただ片づけるだけでなく、異物情報をリンパ球に伝え、リンパ球がその抗体をつくるという連携プレーを行います。こうして白血球メンバーがチームプレーで私たちが

最後に液体部分の「血漿」は、90%は水分で、少量のたんぱく質やブドウ糖、ナトリウム、カリウム、ホルモン、免疫グロブリンなどが含まれ、血球や身体に必要な物質、新陳代謝で出来た老廃物を運び去ります。まさに清濁合わせもつ運河の流れ。ここには疾患原因となる物質も含まれているので、血液はデータの宝庫なのです。気になる老化の影響は次回をお楽しみに。

医療福祉ジャーナリスト おちとよこ

40歳からのAge-less

ワンポイント②⑨
＜血液・その1＞

編集後記

今年(19)は「国民読書週間」の読書週間です。昨秋の読書文化推進は、文字・活字文化推進機構(福原義春会長)を中心に、各種イベントが開かれた。今年も活字離れに歯止めをかけよう。と、子供の読書習慣定着

3月19日に水谷雅一BERC会長が死去。BERC

今年、BERCは「一般社団法人」としてスタート。今年、BERCは確実に新たな

(S)